

# 生月まち協 だより

第38号

令和2年6月15日発行



生月地区まちづくり  
運営協議会

TEL/FAX 0950-29-9080



新しく看板を設置しました!!

# まち協活動報告

## 《 役員会、運営委員会を開催しました 》

5月17日（日）に役員会、5月24日（日）に運営委員会を生月まち協新事務所にて行いました。非常事態宣言により遅れての開催となりましたが、総会に諮る事項の他、令和2年度の総会は新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため書面にて行うことなどを決定しました。



## 《 今後の事業予定 》

開催予定日	事業名	場所
[令和2年]10月4日(日)	三世代交流グラウンドゴルフ大会	生月町勤労者体育センター
11月8日(日)	ごみを拾いながら史跡を巡ろうウォーキング	元触地区
11月23日(月・祝)	いきつき勇魚まつり	生月支所前漁港用地
〃	かかし品評会	〃
〃	フリーマーケット	〃
12月6日(日)	集団避難訓練	各地区
12月頃	イルミネーション設置	御崎地区
[令和3年]3月14日(日)	絶景の道ハイキング	御崎地区遊歩道

※新型コロナウイルス感染症により予定を変更することがあります

キレイな海を  
守ろう!

住民の方から『海に生ごみを捨てる時、ビニール袋に入れたまま捨てる方がいる』という声がありました。現在漂流ごみが海岸を汚したり、海の生き物へ悪影響を与えるなど、世界中で問題視されています。まずは身近な生月の海を守るため、ひとりひとりがごみを捨てないように心がけましょう。



健康福祉部会の

# 健康づくり情報



今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、6月までの健診を中止していましたが、「緊急事態宣言」が解除されたため、7月2日(木)から健診が実施されます。「平戸市健(検)診日程表」と日程が異なりますので、日程表をご確認の上、受診ください。

実施日	対象地区	受付時間	胃がん検診	会場
7月2日(木)	白山・浦中	13:30～14:00	—	平戸市立生月病院
	恵比寿・竹崎	14:00～14:30		
7月6日(月)	正前・里浜・宮田	13:30～14:00	—	
	森・大久保	14:00～14:30		
7月10日(金)	舘浦第1・第2	13:30～14:00	—	
	舘浦第3・第4	14:00～14:30		
7月20日(月)	舘浦第5	13:30～14:00	—	
	山田	14:00～14:30		
7月27日(月)	正和・日草	13:30～14:00	—	
	上堺目・御崎	14:00～14:30		
7月29日(水)	元触・里	13:30～14:00	—	
	堺目	14:00～14:30		
8月28日(金)	生月全地区	8:00～10:30	○	生月船員福祉会館
		13:00～14:00	—	
8月29日(土)		8:00～10:30	○	生月町開発総合センター
		13:00～14:00	—	
2月1日(月)		13:30～14:00	○(予約のみ)	平戸市立生月病院

## 生月病院からのお願い



1. 3密を避けるため、**受付時間の厳守と指定された地区の方のみ**の受診をお願いします。
2. 定期的に内科通院し、血液検査を受けている人は今年度に限り、3密を避けるため、**集団健診はお控えください**。
3. 健診日が、**県外への移動から2週間以内**、あるいは**県外からの家族・知人の訪問が2週間以内**であれば、**集団健診はご遠慮ください**。
4. **風邪症状のある方は受診をご遠慮ください**。  
他の会場で受けることができますので無理しないようにお願いします。
5. **マスクの着用をお願いします**。



# 平戸市在住者ステッカー数量限定配布!



新型コロナウイルス感染症がまん延したことにより、他県ナンバーに乗っている平戸市在住の方が嫌がらせされる事例が散見されているようです。その防止のため市内の有志の方でステッカーを作成しました。その方々からステッカーを分けて頂きましたので必要な方にはお譲りします。ただし、平戸市に在住していることが証明できる免許証等をご持参ください。



## マスク着用による熱中症にご注意ください!

夏期の気温・湿度が高い中でマスクを着用すると、熱中症のリスクが高くなる恐れがあります。  
マスクによる熱中症予防行動のポイントをご紹介します!!

- ・ 気温、湿度の高い中でのマスク着用は要注意!!
- ・ 屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合には、マスクをはずす!!
- ・ マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩を!!



距離を十分にとる



【環境省と厚生労働省リーフレット参照】

## 編集後記

甘露降る 世もそっちのけ 一夜酒 (一茶)

一夜酒（ひとよざけ）とは甘酒のことで、俳句の世界では夏の季語となっています。しかし、小生の中では、寒い季節に鼻水をすすりながら飲んだように記憶しています。祖母が、早朝から鍋みたいなものに麴やら何やらを加え熱を入れたのち毛布などで幾重にもくるみ押し入れの中で保存するのです。翌日か翌々日に開封し少しドロドロになった液体をコップ入れてくれました。ほんのりと暖かくて甘い飲み物でした。その飲み物が「甘酒」というものだとはその時は思いもせずおいしいおいしいと何度もお代わりをしたものです。

ある時期時代小説にはまっていたことがあり、なかでも、江戸の庶民の物語が好きでよく読んでいました。天秤棒に二つの箱を下げた行商人から「甘酒」をわれ先に買っている光景がよく小説に登場します。それが暑い季節だったので、自分の記憶と違うなと思ったものでした。テレビでも有名だった銭形平次には、よく「甘酒」が登場します。

平次が縄張りとしていたのが「神田明神」下であり、甘酒は神田に限るというフレーズがやたらに出てきます。ある時、東京に行く機会があったので、神田明神へ行きました。参道に「甘酒」と書かれた暖簾があるではありませんか。そそくさと参詣を済ませ店に立ち寄り「甘酒」を所望しました。大変甘くておいしい飲み物で、のど越しも良くすーっとのどを通り三口くらいで飲み干してしまいました。すぐに二杯目を注文したのは言うまでもありません。小説通り冷たい飲み物だったので、なるほど暑い夏に江戸の人が重宝したのが理解できました。お店の人に聞いたら江戸時代から続く店だとか、小生が今、江戸の人たちと同じものを飲んでいるかと思うと感慨深くおいしさがぐっと極まった感じがしました。

さあこれから梅雨の季節を迎え、アジサイが雨にいきいきとしてきます。アジサイまでとはいきませんが、じとじと、じめじめとした季節を乗り切らなければなと思う今日この頃です。 (学)

